



### 334複合地区スローガン

楽しく広げよう ライオンズブラン

### 334-B地区スローガン

地域に寄り添い  
未来に拘る We Serve

### 岐阜西ライオンズクラブスローガン

千古不易

2023年 7月 第二例会 994回

7月25日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

## 例会プログラム

### 第994回 教養例会

#### 「例会」

	司会	L.堀
1 開会ゴング	会長	L.大橋
2 国歌斉唱並びにライオンズヒムの歌合唱		
3 ゲスト及びビジター紹介		L.杉野
4 慶祝行事(結婚祝)		L.大橋
5 会長挨拶		L.大橋
6 新会員候補者発表	会員委員長	L.山田
7 委員長の委嘱	会長	L.大橋
8 ヘアードネーションお預かり		L.大橋
9 ヘアードネーション感謝状贈呈		L.大橋
10 ご講演		

#### 「LCIFについて」

一般社団法人 日本ライオンズ専務理事  
334-B地区名誉顧問 L.山本基博

#### < 食 事 >

11 幹事報告		L.後藤
12 各委員会報告		
13 テールツイスター登場		L.乙部
14 出席報告	出席大会委員長	L.広瀬(真)
15 会計報告		L.山崎
16 閉会ゴング		L.大橋

## 会長・幹事報告

### 第994回 幹事報告

- 7月24日(月) 岐阜市内8LCプレスマン懇談会がホテルグランヴェール岐山に於いて開催され、マーケティング委員長L.小野木が出席致しました。
- 7月25日(火) 岐阜市ジュニアリーダー会協力金贈呈式がホテルグランヴェール岐山に於いて開催され、会長L.大橋、幹事L.後藤、市民奉仕委員長L.伊藤(隆)の3名が出席致します。
- 7月28日(金) 第1回岐阜市内8LC会長・幹事会が岐阜グランドホテルに於いて開催され、会長L.大橋、幹事L.後藤、事務局の3名が出席致します。

## 会計報告

ドネーション	7人	金額	39,000円
ファイン	5人	金額	21,000円
Boxファイン		金額	16,330円
合計	12人	金額	76,330円

## 出席報告

会員数	41人
出席数	31人
出席率	75.6%

## 次回例会案内

日時: 8月8日(火)12:15から  
場所: ホテルグランヴェール岐山  
例会名: ZCクラブ訪問例会

## 慶祝行事

結婚祝 7日 L.大坪 篤史  
15日 L.蒲 登志克

会長挨拶

会長 L.大橋 良広

みなさんこんにちは。本日は教養例会ということで先程接待委員長のL杉野からご紹介がありました山本名誉顧問にお越しいただきました。

私事ですが山本名誉顧問には複合地区のリーダーシップ研修で講師としてお越しいただき、懇親会で色々とお話しさせていただいた思い出がございます。

また、山本名誉顧問は2020～2021年度にこの334B地区のガバナーを務められたんですが、ちょうどコロナ禍真っ只中という状況で3ゾーンでガバナー公式訪問合同例会が開催できなかったため、ガバナー諮問委員会へ出席されたとお聞きし、大変尊敬できるライオンだと感動いたしました。



本日はLCIFに関してご講演をいただきます。我々が普段行っている地域への奉仕貢献と並び、献金はライオンとして非常に尊い行いだと考えております。山本名誉顧問のお話しをお聞きして、今一度LCIF献金の意義をお考えいただければ幸いに思います。それでは本日も宜しくお願いたします。

特別記事

講演「LCIFについて」

334-B地区名誉顧問 L.山本 基博



本日は、LCIF重点分野の「小児がん」と「災害支援」の二つの柱をお話します。

全世界の小児がんの現状は、先進国では発見が早いと治療も早いいため、生存率が80%。ところが発展途上国では生存率が20%。ガンとも知らずに亡くなる子どもがいます。診断された子どもの数は400,000人、中低所得国(LMIC)に暮らす患者の割合10人に9人、LMICでがんを克服する患者の割合30%(高所得国では80%以上)

およそ2分間に一人子供が、世界のどこかで「がん」宣告を受けています。LCIF小児がん交付金はライオンズに、治療中の小児がん患者とその家族の暮らしを充実したものにする力を与えます。

(以下、資料抜粋)

我が子が、がんに侵されていると知ったその時から、日々の暮らしは一変します。毎日の生活は、病院通いと子どもの世話が中心にならざるを得ません。日本では毎年2千人を超える子どもたちとその家族が、この経験をしています。しかしライオンズクラブとLCIFのおかげで、神戸市で治療を受ける子を持つ家族は、生活に追われることなく子どもたちのために専念することができています。子どもの治療のために遠方から病院通いする親は、子どもを置いて自宅に戻りたくないものの、長期間ホテルに滞在する経済的余裕もありません。チャイルド・ケモ・ハウスは、この問題を解決するために作られました。家庭にある全ての設備が整った宿泊施設です。

家族は自炊してリラックスしながら一緒に時間を過ごし、子どもが治療を受けている間滞在することができます。地元のライオンズは、チャイルド・ケモ・ハウスの改修が必要であることを知り、1万6千ドル(約170万円)のLCIFマッチング交付金を受け、ライオンズは新しい家具、キッチンと掃除器具、そしてAV設備を提供しました。この新しい施設は、現在、毎年270人ほどの利用者にとって、もう一つの我が家になっています。

本日、素晴らしいタイミングでヘッドネーション寄付の場面に立ち会えました。ありがとうございます。真心のこもった寄付金は50ドルも1,000ドルも一緒です。皆様には、LCIF献金にご協力いただきまして、クラブでぜひともLCIFクラブシェアリング交付金を活用していただき、様々なアクティビティにご活用ください。



結婚祝



7日 L.大坪 篤史



15日 L.蒲 登志克



委員会報告

ヘアドネーションお預かり



ヘアーカットの様子



この度、L.河村洋行のご令嬢、河村空羽さん(6歳)がヘアドネーションを実施され、岐阜西ライオンズクラブ例会に出席してくださいました。L.河村、空羽さん誠にありがとうございました。

FWT委員長 L.河野 秀明



ヘアドネーションをクラブで預かりました



会長L.大橋から感謝状と記念品の贈呈



お預かりした髪の毛は大切に「つな髪」へ送付します。脱毛を伴う治療を受ける小児がんの子どもは年間1,300人以上(白血病 約700件、脳腫瘍 約440件、リンパ腫 約210件/年間)子どもたちが笑顔になれるようヘアドネーションの活動を推進していきます。